兵庫県知的障害児者生活サポート通信

発　行　一般社団法人兵庫県知的障害児者生活サポート協会　理事長　松井美弥子
事務局　651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号　兵庫県福祉センター内
TEL　078-891-4177　FAX　078-891-4188

兵庫県知的障害児者生活サポート協会 設立４年を経過して

理事長　松井　美弥子

兵庫県知的障害児者生活サポート協会を設立して４年が経過しました。施設利用者だけでなく、小規模事業所利用の方、企業就労されている方、学齢期の方と、多くの方がサポート保険を利用してくださり現在、会員数３，６００人余となりました。少しでも、多くの知的にハンディある方のお役にたてれば嬉しく思います。

兵庫県には、知的障害関係団体として、施設協会、育成会、保護者会等の福祉７団体が、「知的障害児（者）と重症心身障害児（者）のいのちと暮らしを守る会」として、連携をもって活動をされていますが、当サポート協会も、協会設立４年目の平成23年度から、仲間に入れて頂きました。

９月には「福祉のつどい」の研修会、１月には［賀詞交換会］があり、理事、代議員の方に出席していただき、研修と交流をいたしました。

●権利擁護活動として、障害者虐待防止法についての研修会を

平成23年９月６日に、兵庫県手をつなぐ育成会と共催で、全日本手をつなぐ育成会作成の「あなたは大丈夫？…親が虐待に気づくために」の虐待防止のための親向けのハンドブックを使って、研修をしました。（参加者79名）

平成24年２月17日には、全日本手をつなぐ育成会主催の権利擁護セミナーが兵庫県で開催されました。当サポート協会も後援団体として、資金と参加者の応援をしました。（参加者200名）

障害者虐待防止法を解説した２冊目の冊子「みんなで知ろう・考えよう　障害者虐待防止」が作成されていました。私達親も、施設の支援者も、企業の方も行政を含むすべての関係機関の方に、読んで頂きたい内容の濃い冊子です。

続けて３月13日にも、県育成会と当会の共催で、障害者虐待についての専門家をお招きして、虐待についての研修をしました。

知的に障害があっても、人としての尊厳を守られ、普通に安心して生活して行ける、地域社会となることを切に願っています。

第1回権利擁護部会　平成23年9月6日

平成24年3月20日　現在加入者3,681名
会員拡大に取り組みましょう!!

平成24年度　収支予算書

（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

●収入の部

科目		予算額
会費収入	制度運営費	8,643,800
雑収入	小計	0
	受取利息	0
	雑収入	0
預り金	預り金	0
前期繰越金		1,008,105
収入合計額		9,651,905

●支出の部

科目		予算額
管理費		5,649,000
会費支出		910,000
事業費	相談支援事業	400,000
	地域生活事業	1,830,000
	就労支援事業	230,000
	権利擁護事業	270,000
固定資産取得支出	什器備品購入支出	0
予備費	予備費	0
支出合計額		9,289,000
当期収支差額		362,905
次期繰越額		362,905

保険料

●収入の部

科目		予算額
保険料	預り保険料	58,178,000

●支出の部

科目		予算額
保険料	預り保険料	58,178,000

第7回兵庫県障害者芸術・文化祭

小原　冷子

平成23年12月17日に、篠山市たんば田園交響ホールにおいて、兵庫県障害者芸術・文化祭と併催して兵庫県障害者福祉大会が開催されました。「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」の県知事表彰のあと、知的障害者就労表彰が行われました。自らの障害を乗り越えて、一般企業に10年・20年以上就労し、他の模範となられている方々が対象です。今年は、勤続10年の方が7名、20年の方が9名受賞されました。一般企業に10年・20年と勤務されることは、知的にハンディを持った人々にとっては、本人の努力は言うに及ばず、ご家族や周りの方々の、温かい配慮やご支援また、就労先の会社の方々の深いご理解とご支援なくては、成し得なかったことでしょう。出席された皆様が、とても良い顔をされていたのが、印象にのこりました。

全日本手をつなぐ育成会 第13回権利擁護セミナーに参加して

洲本市　矢野　昌子

平成24年10月1日に施行される「障害者虐待防止法」についての研修会が2月17日に行われました。

障害者への虐待が新聞、テレビ等で報道されることが、今なお続いています。まさに必要不可欠の法律であると言えるでしょう。

障害者虐待には、身体的な虐待だけでなく、心理的、性的、経済的または、ネグレスト、いわゆる放置することも虐待に含まれる。虐待をしてしまう者としては、家族に限定されるものではなく、グループホーム、施設等でも行なわれたケースも多々あり、密室で行われることが多く、次第にエスカレートしていく可能性もあるとのことです。未然に防ぐための啓発は、早期発見、早期対応が必要になってくるが、どこからが虐待なのかという判断も非常に難しいところである。

成年後見人制度については、利用するのに登記、鑑定に費用が掛かり、お金がない者は利用できないという不合理があり、まだまだ、課題も多いようである。

第13回権利擁護セミナー　平成24年2月17日

地域支援助成金事業報告

支部	実施日	参加人数	事業内容
尼崎	9月12日	40名	「いつまでも美しく、若々しく健康に」をテーマに、会員の健康増進を図ることを目的とし、講師に本庄典子氏を招いて、講演会と体験レッスンを実施しました。
西宮	9/16･11/10･1/12	延べ175名	講師をお招きし、オープンセミナー「ともに育ち、ともに生きる」をテーマに全3回の講演会を開催しました。
芦屋	3月17日	30名	障がい者と市民との交流を図る為、ボウリング大会を実施しました。
伊丹	8月19日	33名	団体行動を通じて、親子で研修をし、親睦を深めるため、須磨海浜水族園・神戸海洋博物館に行きました。
宝塚	10月15日	65名	障害をもつ子どもと、保護者の親睦を深めるため、親子バスツアー「梨狩り」を実施しました。
川西	11月23日	65名	知的障がい児者及び家族がボーリング大会（余暇活動）で楽しい時間を過ごすことにより情緒を安定させる。また、会員の親睦を図ることを目的とし実施しました。
三田	2月26日	52名	本年度は、三田市手をつなぐ育成会が40周年を迎えることになりましたのでこれを記念して、市内サポート協会会員の方にも呼びかけて、親睦・交流を深めることを目的とし、ボウリング大会を実施しました。
猪名川	3月17日	40名	障害をもつ子どもと、保護者の親睦を深めるため紙芝居の上演やゲーム・会食をし親子の親睦会を実施しました。
明石	3月23日	40名	サポート協会並びに、育成会会員の参加で会員同士の親睦を深めることを目的とする。本人部会を開催し、会食等で交流を図る。
加古川	12月11日	75名	会員同志の親睦を深めるため、家庭ではあまり足を運ばない愛知県リニア鉄道館･はばなの里に、バス旅行を実施しました。
高砂	10月22日	59名	会員の交流と親睦を兼ねて、水木しげる記念館に行きました。
東播磨	11月12日	55名	会員の社会研修と親睦を深めるため、天橋立ビューランドへ行きました。
西脇	12月3日	42名	障がい者との交流及び、他の障がい者親子との交流を兼ねた親睦旅行を実施しました。
三木	8月27日	45名	障がい者（児）に対する理解と協力のもと、市内の結婚式場を貸し切ることができました。このような格式の高い所で、コース料理のマナーを体験し、家族間の親睦を図ることが出来ました。
小野	2月25日	56名	劇団風の子公演「とんとむかし」を開催しました。重度の障がい者にとって本物の劇を鑑賞する貴重な機会となりました。また、サポート総合補償制度のパンフレット配布、防災グッズの展示を行ないました。
加西	9月25日	57名	生活サポート協会会員並び育成会会員の参加で会員同士の親睦を深めることを目的としグリーンエコー笠形にてバーベキュー大会等を実施しました。また、自立の為の準備として能力に応じてバーベキューの調理、準備、後かたずけ等をボランティアの方々と一緒に行いました。
加東	11/26･12/17	56名	会員の募集と障害児による創作活動（オアシスによるアレンジ）の生花と各施設・公共窓口での展示。また普段あまり食べることができないシェフの手作りバイキング料理を食べながら、会員相互の交流と親睦を図る。生活サポート総合補償制度のパンフレットの配布。
姫路	9月23日	75名	なかなか外出することが出来ない親子が、サポート協会の助成金によって計画された旅行に参加し、情報交換や親睦を図ることが出来ました。
中播磨	8･10･12･2･3月	延べ150名	県認定音楽療法士により、音楽療法のセッションを5回シリーズで受講しました。楽しく音楽で体を動かし、リラックスできる音楽遊び的な要素を中心とした内容でした。
相生	10月22日	70名	知的障がい者の社会参加・自立に向けての体験、また会員相互の親睦を目的とし、兵庫県立こうのとりの里公園・道の駅「朝来」に行きました。
たつの	12月4日	36名	知的障がい者同士、並びにその保護者同士の親睦を目的とし、中学校の調理室を借り、講師を招いて障がい者本人たちがボランティアの手を借りながらピザ作りに挑戦しました。食後、市内のクラリネットグループ、フラダンスグループに来ていただき演奏を聴き、一緒にフラダンスを体験しました。
赤穂	8月28日	41名	竹田良子さんによる、腹話術、皿回しを観賞した後、赤穂ブラスウィンズによる演奏会を通じて、親睦を深めると共に、実際に楽器に触れる体験を行ないました。
豊岡	10/8・3/4	延べ61名	障がい者自立支援法の周知・地域の障がい者福祉の現状把握・当事者相互理解と懇談を目的とたし研修を行いました。また、地域の障がい児の保護者に参加を呼び掛け、昼食会を兼ねて日頃の思いや悩みなどを語り合うことができました。
美方	8月26日	84名	美方郡内の知的障がい者（児）とその保護者が一堂に集い、お互いの親睦と交流を深めるとともに、幅広い体験学習を通して、共に生きる仲間づくりと知的障がい者（児）の社会参加の促進を図ることを目的とし、香住B&G海洋センターで「フライングディスク大会」を開催しました。
養父	7/23･10/12	22名	グループホーム・ケアホーム・チャレンジホームの知識の習得と、これからの養父市で、どのようなことが出来るのか等について、尼崎市の井上会長をお迎えし勉強会を実施しました。また、それぞれのホームがどのように運営されているのか、尼崎市・宝塚市を見学させていただき、会員同士の意見交換を行ないました。
丹波	12月18日	140名	サポート協会会員やボランティア等の交流と親睦を図るため、丹波市立氷上住民センターでクリスマス会を開催しました。
篠山	9月18日	24名	（社福）まいづる福祉会「ほのぼの屋」での本人たちの働き方や暮らしを見学させていただき、その後、勤務の本人さん4名と店長、副店長との交流会を行ないました。特に給料や、休みの過ごし方については、本人同士の活発な発言が飛び交いました。親子ともども、大変有意義な一日になりました。
洲本	7月28日	67名	多忙な日常生活から離れ、親子のふれあいを目的とした親子・お楽しみ遠足を実施しました。海遊館では、人気のジンベイザメをはじめとする、いろいろな生き物を見学し、生命のすばらしさや不思議さ、自然の大切さを学びまた、ららぽーと甲子園では、見学及び買い物等の体験をしました。
淡路	10月8日	14名	親子への楽しい時間を提供し、子どもたちが社会活動へ参加するきっかけのひとつになることを目的とし、NEWレオマワールドへ親子遠足にいきました。
南あわじ	11月6日	55名	日頃、外出の機会の少ない知的障がい者とその保護者に気兼ねなく楽しいんでもらい、交流・情報交換・体験をしていただくことを目的とし、姫路セントラルパークへ日帰りバスツアーを実施しました。参加者は終始、和やかに交流し、貴重な情報交換、体験の機会となりました。
神戸	9月29･30日	22名	利用者本位の事業の在り方を再度検討し、ステップアップを図るため多角的法人運営を展開している「（社福）むそう」の視察研修と戸枝氏の講演、質疑応答を実施しました。

ＡＩＵ保険に加入して

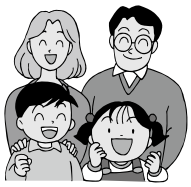
伊丹市　竹村　靖枝

平成23年8月2日に和子が発病して入院しました。検査の結果マイコプラズマ肺炎と診断されました。院内感染を防ぐという事で、個室に入るように言われましたので、少し良くなるまでは、個室に入ることになりました。

お薬がきつく、幻覚症状が起き、変なことを言うようになったので、お薬を変えていただき、やっと普通にもどりほっとしました。

この度は、今までと違い長い入院でしたが、22日にやっと退院の許可がでました。入院時は、指導員の方に来ていただいたり、保護者の皆さんにご心配をいただき、本当にありがとうございました。

ＡＩＵの保険に入っておりましたので、入院給付金の請求手続きをしました。給付金をいただき、本当に助かりました。普通の保険には加入できませんので、この補償制度を作っていただいた方々に感謝しております。



近畿・中国・四国ブロック会議

塚本　壽子

平成23年11月11日に、香川県仲多度郡琴平町の金比羅山の見える「琴参閣」で会議が開会されました。

全国知的障害児者生活サポート協会から以下の報告がありました。

＊一般社団法人登記前の事業・会計等及び登記後の事業計画等の報告。

＊加入者状況について、11月1日現在で、36都道府県の加入が8万人を超えたこと。近畿・中国・四国ブロックの加入者は、全体の13.64％、継続加入者は97.1％です。23年度の増加の38％を近畿・中国・四国ブロックが占めていると報告。

＊事業の実施状況については、当協会研修会及びブロック会議等での、各サポート協会の事業報告・協議内容を参考にして芸術・文化・スポーツの事業が拡大しつつあるとの報告。

続いて、ＡＩＵ保険会社より情報提供がなされた。

この後、各サポート協会の事業実施報告及び加入者拡大の今後の具体策等を協議しました。

24年度のブロック会議は滋賀県で開催されることが決定し、閉会しました。

「滋賀でお会いしましょう。」と、お元気に挨拶しておられた、開催県香川の九冨彰三理事長が2月に、ご逝去されたと訃報が入りました。謹んでお悔やみ申しあげます。

全日本手をつなぐ育成会 第60回全国大会に参加して

塚本　壽子

第60回全国大会が、平成23年11月5日・6日に東京国際フォーラム・ホールＡで開催されました。

大会1日目は、第1部「悲しみを乗り越え」、第2部「絆を強め、支え合い」、第3部「共に生きよう」で、震災復興支援シンポジュウムが行われました。第1部の被災地からの報告では、映像と写真に会場全員の目が釘付けとなりました。第2部のシンポジュウムは、復興に向けて育成会としての具体的な支援から、支え合う絆を感じました。第3部は、シンポジュウムを通して、避難場所の確認と避難用具の準備、そして日頃から地域の方々とのつながりの大切さを知りました。

大会2日目は、ご臨席いただいた各大臣からの挨拶、天皇皇后両陛下の御名代として皇太子殿下からお言葉をいただき、会場全体が感動に包まれました。そして、皇太子殿下の前で、被災地県本人代表の堂々とした、被災体験発表は会場を奪い立たせました。大会の最後は、女性歌手グループＳＰＥＥＤの今井絵里子さんのミニライブでした。しっとり聴いたり、本人さんたちもステージに上がって大合唱して盛りあがったり、聴覚に障害のある子供さんのお話をして下さって、心に残るライブでした。

地域生活支援事業 ピザ作りに参加して

たつの市　嶋津　修

昨年12月4日、龍野東中学校調理室でサポート協会と育成会本人部会合同のピザ作りに家族で参加しました。

本人は、親と別でボランティアさんの指示を聞き、隣を見ながら生地作り。大きな生地の上には具がてんこ盛り…

親は子どもが気になり横目でチラチラ…　家庭では見られない光景。オーブンを覗きながら真剣な顔で待っている。ピザが焼けると大歓声。試食会では自分のピザを自慢げに友達と分け合って美味しそうに食べ満足感に満ちていました。

本人部会に参加するようになり、友達とのふれあいや仲間意識が芽生え、帰りには次の行事参加の声掛けを楽しみにしています。自宅で籠りがちの子が本人部会に参加する事で社会参加のきっかけになってほしいと思っています。今回この様な企画をして下さったサポート協会と本人部会のお世話していただいている皆様に心から感謝しています。